事例No.	2054
公表年度	R4
団体の属性	町村
団体名	島根県川本町

事例区分	DX

タグ	・ICT ・（行政改革）業務の効率化 ・公共施設活用

事例種類	公衆衛生

事例内容・タイトル

非接触アプリの活用

出典

地域社会のデジタル化に係る参考事例集【第2.0版】

74 非接触アプリの活用【島根県川本町】

事業の概要

○ 川本町では、かわもと図書館利用者と職員が安心して運営・利用できるよう非接触による貸出サービスができるスマートフォンアプリを開発した。

○ アプリからかわもと図書館のHPへリンク し、本の貸出予約等をスマートフォンからできる。
　また、アプリに利用者番号を登録することで 図書館利用者カードの代わりとして使え、カードを忘れても本を借りられる。

○ 「myBooKList」を活用して、自分が読みたい本や読んだ本を登録することで簡単に読書履歴を作成することができる。



図書館アプリ
「ぶっくん」

【参考情報①】 人口：0.3万人
関連URL：https://www.town.shimane-kawamoto.lg.jp/

【参考情報②】地方創生臨時交付金（内閣府）とは
URL：https://www.chisou.go.jp/tiiki/rinjikoufukin/index.html

もっと知りたい！　担当者にインタビュー


（総務省）

取組の経緯・きっかけを教えてください。


（川本町）

　コロナ禍においても、図書館利用者と職員が安心して利用・運営ができるように検討した結果、スマートフォンアプリを活用した本の貸し出しという構想にいきつきました。



導入又は実証時において、国又は都道府県の支援制度（人的支援や技術提供、補助金等）を活用しましたか？



　スマートフォンアプリの導入に当たっては、内閣府の地方創世臨時交付金（令和３年度）を活用しました。



住民の反応（声）はいかがですか？



「図書館の利用者カードを忘れることもあり、スマートフォンがあれば可能なので便利」
「『myBookList』機能を活用して、読んだ本の履歴や感想を記録できるので、見返すもの便利」といった声が届いています。

★担当：川本町教育委員会★

令和3年事業費　500千円
（うち、地方創生臨時交付金（内閣府）　330千円）